

## 8月定例教育委員会 議事録要旨

日時：令和3年8月24日 15:00開会

場所：中津市役所3階大会議室

出席者：栗田教育長、中島委員、横松委員、本田委員

黒永教育次長、奥久教育総務課長、岩久学校教育課長、岩丸社会教育課長、  
末吉体育・給食課長、野畑小幡記念図書館長、山本生涯学習推進室長、  
高崎歴史博物館長、木村教育総務課主幹

### ○8月教育委員会報告

栗田教育長から、8月時における教育委員会事務局の動き等報告。

### ○令和3年度9月補正予算（第4号）について

奥久教育総務課長から、補正内容について説明。  
特に意見等なく、賛成多数で承認した。

### ○中津市立中学校標準服のあり方について

岩久学校教育課長から、中津市標準服のあり方に関する検討委員会の中間報告、それを受けての今後の方針について説明。

・最初は来年からと言っていたが、慎重に進めていて素晴らしいと思った。保護者や生徒、様々な意見を聞いて、慎重に進めたほうがいい。

→生徒の意見をしっかり聞きたいということでアンケート、それから今後の展示会後の評定、それから生徒会を通して、各学校の特徴を出していただく、そういうところで考えたところ  
です。

特に意見等なく、賛成多数で承認した。

### ○令和4年度教育関連の政府予算に係る要請書について

岩久学校教育課長から、令和4年度政府予算に係る要望について説明。  
特に意見等なく、賛成多数で承認した。

### ○中津市教育委員会施策の点検・評価に関する報告書について

奥久教育総務課長から、報告書の内容について説明。

・公民館やコミュニティーセンターにWi-Fiがあるといいと思うが、現状や今後の予定があれば教えていただきたい。

→無料Wi-Fiということで、30分したら切れますが、利用は可能となっております。1回30分で1日6回までということで利用が可能。非常災害時はずっとつながるようにできるようなシステムになっています。

- ・最近パソコンを使うので、漢字を読めても書けないとかいう子も多いようなので、英検だけではなく、漢字検定なども考えてはどうか。  
→今のところは漢字検定など特化したものは考えておりませんが、今後機会があれば、検討の俎上にも乗せていければと思っております。  
特に意見等なく、賛成多数で承認した。

## ○その他

高崎歴史博物館長から、無料エリアのオープンギャラリーの特報で、9月4日から30日まで開催の企画展「見つめ直そう中津の自然、過去から未来へ」、及び9月18日から11月7日まで開催の企画展「西向くサムライ」の説明。

末吉体育・給食課長から、9月11日から3日間の日程で予定していた大分県民体育大会中止の報告。

岩久学校教育課長から、令和4年度までに市内全部の学校で導入予定のコミュニティースクールについて、新型コロナの影響もあり、2年間の猶予期間を設けることについて説明。また、8月25日から31日までの臨時休業、8月1日から22日までの中津市の新型コロナウイルス感染状況、9月1日から3日まで4時間目までの時短授業及び部活動の休止、抗原検査キットやマスク等の学校での感染対策、教育実習生の対応について説明。

- ・このコロナ禍での教育実習生の受け入れをどう考えているか。  
→御指摘のとおり、今までは来られる方が持ち込むのではと心配していたんですが、逆に、中津の学校に行くことによって自ら感染するのではという状況も今生まれているところですが、実習生の判断にもよると思いますが、実習生にしてみても、単位の問題や大学との兼ね合いがあり、変更がしづらい部分もあろうかと思しますので、できる限りの予防をしながら取り組むというふうに考えております。
- ・実習生はワクチンを打っているのか。  
→実習生によってまちまちの状態です。もう既に打ってこられている方もいれば、これからという方も当然いると思いますので、ちょっとそこは完全には把握できておりません。
- ・会食がとにかく一番感染しやすいと言われているので、給食のときにしゃべらないなど、そういったことを徹底することが一番大事で、クラスでより徹底していくといいと思う。  
→教育実習生に関しても、2週間前から検温を義務づけておりまして、実習中も会食はやめてくださいというふうに案内もしております。2学期に向けて再度、気を引き締めて、学校のほうでも声かけをしてもらって、お互いに気をつけるという意識を持って取り組んでいきたいと考えております。
- ・「しゃべらない給食」や「話さない給食」など、大事な意識を合言葉みたいなもので共通に表すということを検討してみてもは。  
→意識をしっかりと高めていくことは大事だと思いますので、そういったスローガンのものは非常に有効だと思います。各学校に呼びかけながら、学校の中でそういった意識を持ってやってもらえればと思っております。

- ・コミュニティースクールは、すべてが6年度まで延ばすということではなく、4年度でできるところは導入するのか。  
→来年度できるところは来年度導入してもらいますし、これから2年間の中で準備できたところから導入していくという捉えでおりますので、みんな一斉に2年先延ばしにするということではございません。
- ・9月に学校をスタートして、例えばクラスに1人感染者が出た場合に、どういった対応をしていくのか。  
→基本的には、これまでと大きなスタンスは変わりませんが、感染者を確認しましたら、まず次の日は臨時休業で、濃厚接触の子どもさんたちの特定をするというふうを考えております。週の曜日の並びや子どもさんの行動履歴によると思いますが、それに応じて次の日に検査をするのか否かというような、ケース・バイ・ケースで判断はしていくように考えております。保健所の指導のもとにきちんと考えてやっていきたいというふうを考えております。

山本生涯学習推進室長から、新型コロナの影響による土・日に計画していたキャンプの中止、放課後子ども教室の9月12日までの中止、青少年事業での三世代交流事業についての9月12日までの自粛について報告。また、毎週土曜日の「学びのすすめ土曜塾」について、28日土曜日中止について報告。

野畑小幡記念図書館長から、定期的を開催をしているお話し会、幼児向けと赤ちゃん向けのお話し会、DVD鑑賞会について、新型コロナの影響による9月12日までの中止を報告。また、乳幼児健診と7か月健診時に赤ちゃんへの読み聞かせと絵本のプレゼントを行う事業については、個別の検診になったため、ファックスやメール、電話等で受け付けをして、絵本をプレゼントする方法に変更したことを報告。

#### 教育委員から

- ・新型コロナについて、検査で1回陰性だからといって、安心して外へ出て回らないということが実はすごく大事なことで、そういうことは最低限私たちでもできることなので、そういったことのアドバイスなどを学校でできるといいと思う。1回陰性でも本当の陰性ではない、おかしければもう1回しましょうというような、そういったことを分かっていたらとよい。